



# 学校だより

5月号

令和2年5月12日

まちのみんなひとつになあれ

「今日も頑張ったね」

校長 堀野 由里

新緑の美しい季節になりました。臨時休業が長く続いています。新型コロナウイルス感染症拡大防止へのご理解とご協力ありがとうございます。年度末の3月、そして新学期が始まってすぐの臨時休校となっています。先の見通しがもてない中で、この状態がいつまで続くのか、保護者の方たちをはじめとして私たち大人も不安ですが、何より一番不安を感じているのは、子どもたちだと思います。自分の学年やクラス、友達や担任など関わりのうすいまま、休みになりました。そしてその休みもいつまで続くのか分からず、「人と距離をとりなさい」、「外でもこれをしてはだめ」などと禁止されていることがたくさんあります。強いストレスを感じないはずがありません。家庭で学習するように、課題を出されていますが、一人で自宅で学習することは、子どもにとってかなり難しいものです。いやになったり、イライラしたりする中、家庭で長い時間続けて学習するには高い意欲が必要です。

子どもたちが学習への意欲をもち続けるために、子どもたちが「今日も頑張ったよ」という思いで一日が終われるようにしてあげたいと思います。まずは大人が、子どもにとって家庭学習を続けることが、難しいことだということ、続けて頑張っているのは賞賛すべきことであるという意識をもってあげたいものです。(難しくない子もいるかもしれませんが) また、できないことや苦手なことを質問しながらできる環境ではないので、できないこと、難しいことから始めるのはたいへんです。できること、得意なことから始めて、続けて取り組んでいくことを大切にしたいです。そして、少しの時間でも、また内容が簡単なことばかりでも、自分で一生懸命学習に取り組んでいたら、認めてあげ、褒めてあげて、「今日も頑張った」という達成感をもたせたいものです。できることを続けて行う中で、それを積み重ねて、新しいこと、苦手なことにも少しずつチャレンジできるようになり、学習の習慣ができます。また自分の好きな分野を調べたり、図工の本を見て作ってみたり、野菜や花を育ててみたり、家庭科の製作を試してみたり、長いお話を読んでみたり、好きなことや得意なことに取り組んでみることも意欲につながります。そして寝る前に、お子さんと一日を振り返って、「今日も頑張ったね。えらかったね。」という声掛けで終われたらすてきです。

家庭学習については、ご家庭に向けてお願いするばかりですが、課題はどんな内容なら一人で学べるのか、職員が自分の学年の子どもたちにむけて考えています。はやくこのような状況が終わり、子どもたちが笑顔で登校できる日が来ることを願っています。そして各ご家庭でのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。